



挿絵：ベッティール・リーベック 1887-1945
1931年版原書の挿絵を描き、高い評価とともに長く親しまれている。

スウェーデン再発見

ニルスと旅する

NILS HOLGERSSON'S UNDERBARA RESA GENOM SVERIGE

スウェーデン



監修：齋藤惇夫

作家・児童文学者。福音館書店の専務取締役（編集責任者）として子どもの本の編集に携わり、2000年に退社、創作活動に専念。著書に『グリックの冒険』（岩波書店・日本児童文学者協会新人賞受賞）、『冒険者たち』（岩波書店・国際アンデルセン賞優良作品賞受賞）、『ガンバとカワウソの冒険』（岩波書店・野間児童文芸賞、国際アンデルセン賞優良作品賞受賞）などがある。

第三回 〈人間って素晴らしい〉

人間嫌いの男の子



かもしれないとも思います。

年は十四ぐらい、体はひょろつとやせていて、髪は亜麻色、寝ることと食ることが大好きで、趣味はいたずらという、はつきりいつて、あまり役にたたない男の子でした。（上巻 11頁）

ニルス・ホルゲション——「ニルスのふしぎな旅」の主人公は、勉強嫌いの乱暴者。「ガチョウの番もまかせられない怠け者」でした。動物をいじめ、人に意地悪をし、両親からは叱られてばかり。誰のことも…自分のことさえも好きになれず、生きていることも面白くないといった日々を過ごしていました。

妖精にいたずらをして小人にされたニルスは驚きと悲しみに打ちひしがれますが、もしかしたら自分には、勉強したり教会で説教を聞くよりも、小人の姿で旅をしていた方が性に合っているの

今から100年以上も前、小学校の地理の副読本として書かれた「ニルスのふしぎな旅」。スウェーデンでは誰もが幼い頃に読み、心に刻む大切な物語です。今や環境先進国、福祉大国と呼ばれ、女性の社会進出や教育面でも注目を集めるスウェーデンを支え続けてきたものは何なのか…。物語を読み解きながら、その根底に流れる「スウェーデンの力」を探ります。

誇りと希望を



「人間として生きる素晴らしさ」を、私たちは「ニルスのふしぎな旅」を読み進めながら何度心に刻むことでしょう。煤だらけになりながら山火事に立ち向かう勇氣、鉄鉱石を掘り出すために工場を作る知恵、深い愛情で結ばれる親子——ニルスとともに鳥や小動物の目線で「人間という存在」を客観的に見つめることで、私たちは人間として生きることの誇りと希望を見出します。「自分」が愛しくなっています。

全ての人は「二人の人間」として尊ばれ、大切にされるべきであるという考え方は、現在のスウェーデン社会を支える基本思想です。教育の現場一つとってみても、15歳までは成績表がないこと、特別支援の子たちも同じ学校で過ごすことなど、その徹底した姿勢がうかがえます。子どもでも大人でも、年をとっていても、ハンディキャップがあるうと、人間は素晴らしい存在なのです。そしてそれゆえに、その素晴らしい勇氣や知恵を正し

Present



訳者・菱木晃子さんのサイン本を上・下巻セットにして、抽選で1名様にプレゼントいたします。昨年『ニルスのふしぎな旅』生誕100周年を記念し、新訳で甦った珠玉の冒険物語です。ご希望の方は、同封のコミュニケーションカードが官製はがきに、ご希望の賞品名・住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレスを明記の上、ご応募ください（11月10日消印有効）。官製はがきでご応募の場合、P26の「お便り募集」の宛先までお願いいたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※文献は福音館書店発行、セルマ・ラゲルレーヴ作「ニルスのふしぎな旅」上（下巻）（菱木晃子訳）によります。

く使い、より良い社会を築かねばならないのです。

幼い日にニルスと出会い、「かけがえない自分」に気づいた子どもたちが、他者をも認め、愛し、人生を大いに楽しみながら、自信を持って明日へ踏み出す時、「生きているって素晴らしい！」と感じる時——未来は明るく輝き始めます。

寒さに震え、暖かい部屋に入ることもできない…そして旅に出るまでは考えもなかった人間の世界について、あらためて思いを巡らせ始めます。

人間はすばらしく、かしこいものなんだ、とニルスはあらためて思いました。そして郵便局の前にさしかかると、世界のあちこちからとどく手紙というものを思いだしました。薬局や診療所が見えると、病气や死と闘う人間の力は偉大だと感じました。教会の前でると、いま生きているこの世以外の世界や神さまや復活や永遠の命について教えをきくために、人間は教会をたてたんだと分かりました。歩いていけばいくほど、ニルスは人間をどんどん好きになっていきます。

（上巻 156頁）

元いた世界の素晴らしさに気付くことは、同時に、失ったものの大きさを知ることでもありました。この時から、ニルスは「人間に戻るにはどうしたらいいんだろう」と真剣に考え始めます。